



ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社



定時1時間前退社をして運動をする制度を継続中。
制度利用者には活動量計を貸与。

運動機会の創出、習慣化と働き方改革における残業時間削減の同時達成のため、週1回定時前退社し、その時間を運動に充てることを許可する制度を実施している。制度の利用にあたっては3ヵ月ごとに目標設定とレビューを実施し、個人の健康課題改善を促進している。また、本制度利用者には、AppleWatchやGARMIN等の活動量計を無償貸与し、日々の活動の見える化を後押ししている。



株式会社ウェルネスファームひょうたん島



全社員による八丈島をスポーツ・
体操で元気にする活動

国家資格者である全社員が救護、けが予防、運動指導の専門家として、得意分野の島内スポーツのサポートに参加している。野球、サッカー、柔道、トレッキング、バレーボール等の青少年への技術指導のみならず、けが予防を積極的に指導。杏文学園とコラボし、年間を通して、ロードレース大会、フットサル大会、各種スポーツ合宿の救護サポート、高齢者運動教室を行っている。



ウェルネス・ブランド・コーポレーション



自ら姿勢改善の運動やウォーキングを実践。
地域の方には姿勢と運動・健康の大切さを
知る機会を提供

地域のイベントで姿勢チェックを実施して、姿勢のワークショップを開催した。
体のゆがみと運動と姿勢の関係について知り、自らの体に興味をもってもらう機会を提供した。
学校・公共施設での授業、講演会に講師を派遣し、姿勢教育の普及に努めた。
歩くことの大切さ、姿勢と歩行の関係を知り、一緒に街を楽しく歩く時間を提供した。



株式会社ウサギオンライン



月1回のランニング・ヨガ等の社内講座
(ウェルネスウェンズデー)への参加を推進

グループ内で雇用している障害者アスリートと積極的にコミュニケーションを取り、スポーツイベントなどでは同じチームとして競技に参加するなど、社員の一体感醸成に寄与している。
また、「国際ヨガの日」のヨガイベント、就業前後と就業中に行う「ウェルネスウェンズデー」、その他社外イベントと、社員がスポーツに触れ合う機会を用意し、参加を推奨している。



一般社団法人A-wear協会



小・中学生330人をプロスポーツ観戦に招待。
大学生アスリートとトッププロ選手との
合同トレーニングの実施、及び大会への協賛

スタッフが、平成24年にスポーツ健康都市宣言をした大田区出身であり、地元へスポーツに関する事柄で貢献したいと考え、大田区を拠点とするプロバスケットボールチームへ2018-2019シーズンに出資し、大田区・世田谷区の小・中学生330名を試合観戦に招待した。

また、明治大学キックボクシング部へ、クライアントであるトッププロ選手を帯同し、合同トレーニングを実施。参加した学生から、学生リーグチャンピオン、アマチュアムエタイ金メダルに輝く選手を輩出した。

さらに、大会への協賛として弊社商品を提供した。



ANAテレマート株式会社

ANAテレマート株式会社



グループ体操を取り入れ就業中の
軽運動を奨励、日常の運動習慣向上を実践

「ANAグループ体操」を部署・チームごとで実施し、始業前のブリーフィング、チーム会などに取り入れ、リフレッシュとして活用している。さらに日々の業務のなかで身体を動かす習慣を促進するため、スタンディングデスクを設置。議論の活性化、リフレッシュ効果、業務効率化を期待している。

また、社員有志による野球部が継続して活動しているが、今年度は新たにバレー部とバスケット部が結成され、コミュニケーション活性化に繋がっている。



Empower Results®

エーオンホールディングスジャパン株式会社



Aon Wellbeing ～健康経営実現のための
さまざまな社員向け活動を積極的に推進

全世界120カ国にあるエーオングループでは、毎年社員の健康と福祉のためのイベントを実施しており、エーオンジャパングループでは会社内の親睦を目的に、フットサルやボウリング大会を業務として開催している。

また、東京オフィスの全席に上下昇降デスクを導入し、社員のスタンディングワークを取り入れることで健康増進を図っている。



Your Dreams, Our Challenge

AGC株式会社



従業員の心身の健康保持増進を目的として、
全社ウォーキングイベント等各種施策を展開

全社ウォーキングイベント「AGCウォーク」を年2回定期開催。従業員が楽しく健康習慣を身につけることを目的としており、参加賞等の各種賞品も充実している。直近では約2,000名が参加した。

また、周辺にスポーツジム施設の少ない地域で働く従業員向けに、職場や社有寮内に運動室を設置し、日常的な運動を促進している。始業前には、身体を動かすことで1日を健康に過ごせるよう、任意参加の朝体操を実施している。



株式会社エコ・プラン
豊かな環境を創造する

株式会社エコ・プラン



『仕事もスポーツも”やる気日本一企業”、75%以上の社員が参加する6つの部活やサークルを運営』

軟式野球部、サッカー部、バスケットボール部、陸上サークル、テニスサークル、ゴルフサークルに社員約300名のうち、約75%が参加している。運営費の一部を会社が負担をしており、社員が参加しやすい状況を作っている。また、役員が取組に対して理解があり、サポートならびに役員自身も参加し、社員との交流を通して、風通しの良い社風作りをしている。



株式会社エスクリ



部署の垣根を超えた
チーム対抗駅伝大会を実施

部署の垣根を超えて社員がチームを結成し、希望する新卒者や内定者などを含めてチーム対抗駅伝を実施した。

開催は3年目ではあるが、年々参加者も増え、この大会を目標に運動する社員もでてくるなど社内に浸透してきており、ESCRIPT「絆」駅伝の名にふさわしいイベントに成長している。

また、リュックスニーカー通勤や階段利用の促進など、日常的に運動を行う機会を増やすことで、スポーツへの意識醸成を継続して実施している。



SGホールディングス株式会社



全国各地のグループ社員とご家族が
参加する社内スポーツ大会を実施

グループ保有施設を活用し、毎年5月に社内スポーツ大会を開催しており、今年は1,200人超が参加した。

佐川急便の支店別チームやグループ事業会社混合チームが競い合い、社員だけではなくその家族も参加して社員・家族のつながりを深めている。

さらに、オフィシャルスポーツ部(陸上競技部・ソフトボール部)を設けアスリートの競技活動支援や、「全国高校駅伝」への協賛を通じてスポーツ振興に取り組んでいる。



NOK株式会社



社内運動会やウォークラリー、アスリート社員によるトレーニング講習会を実施

3年に1度開催する社内運動会では、全国各地から約3,000名が参加し、大玉送りや綱引き、リレーなどのスポーツを通じて、事業所・部署・役職の垣根を越えた社員同士の親睦融和を図っている。

また、2019年度は競泳選手2名を採用し、社員が大会応援に参加するなど、選手たちをサポートしている。

さらに、アスリート社員を講師として、オフィスや自宅で簡単にできるストレッチなどの講習会を実施したり、昨年に続きウォークラリーを行ったりしている。



株式会社エフピコ



ユニバーサルスポーツであるフロアホッケー 活動をグループ企業あげて推進

障害・年齢・性別に関係なく一緒にプレイするユニバーサルスポーツであるフロアホッケーのチームを全国9拠点で結成(15チーム、うち東京3チーム)。グループ社員約600名(障害のある社員約200名、障害のない社員約400名)がアスリートとして概ね月に一度集まり練習し、年1~2回の大会に参加しているほか、東京と広島の2つの大会でメインスポンサーとなり、多くの社員がボランティアとして運営に参画している。

MS&AD

INSURANCE GROUP

MS&ADインターリスク総研株式会社



スタンディングミーティングや階段利用 促進の継続実施及び予防体操を中心とした 「肩こり・腰痛対策プログラム」の実施

スタンディングミーティングや階段利用促進の継続実施。

昨年度、著名な先生を招いての「肩こり・腰痛改善セミナー」で教わった予防体操を中心とした「肩こり・腰痛対策プログラム」を全社員で実施。



株式会社エムステージ



「スポーツ活動推進手当」や「ながらエク ササイズ」で地道にコツコツ健康増進

企業の健康経営をサポートする立場から社員の健康増進にも積極的に取り組んでいる。

スポーツ活動推進手当では、社員4名以上で行うスポーツ活動(テニス、山登り、フットサル、ヨガなど)の費用をひとり3,000円まで補助している。

また、朝礼時にストレッチを実施したり、クイックミーティングはハイテーブルで立ちながら行うなど、ながらエクササイズも推奨。社員が自主的に健康増進へ取組めるようサポートをしている。



株式会社エムティーアイ



クラブ活動支援や健康管理アプリを使った ウォーキングレースや健康活動の実施

全従業員を対象にクラブ活動の入部推奨と費用補助を行い、スポーツ活動を促進。また、自社で開発を行っている健康管理アプリを全従業員に配布し、ウォーキングイベントを開催。毎日8,000歩を目標に、運動習慣の意識、習慣付けを行っている。さらに、従業員だけでなく、誰でも参加ができる健康活動の記録サービスを開発、運営し、日々の運動の記録をポイント化。ポイントに応じたインセンティブを与える仕組みを構築し、全社で運動(スポーツ)活動を促進し、コミュニケーションの活性化を行っている。



株式会社MPandC



アスリートと街(マチ)をつなぐアスマッチ
プロジェクトがスポーツを通じて子供たちを応援

公益財団法人東日本大震災復興支援財団が実施する「東北『夢』応援プログラム」の一環で、東北で暮らす子供たちを対象に、東北にゆかりのあるコーチ等による現地指導と遠隔指導を通じ、指導機会を提供することで、子供たちの「やりたい」気持ちや夢を追求する環境を応援している。子供たちは「夢宣言イベント」へ参加し、自分の目標をコーチと約束した後、夢や目標に向けて、計画的に練習に励んでいる。



オイシックス・ラ・大地株式会社



障害者スポーツへの食の提供を通じた支援や、
社員の観戦や体験会を企画

一般社団法人日本車いすラグビー連盟とオフィシャルサポーター契約を締結し、食材提供による支援や、情報発信を通じたファンづくりの支援を行っている。車いすラグビーの試合を中心に、社員による応援や、障害者スポーツの体験会への参加を積極的に行っている。また、昨年からゴールボールの選手たちにも食材提供、食を通じた支援を始めている。



青梅信用金庫

青梅信用金庫



青梅マラソン大会を始め、スポーツ大会
協賛や各種イベントへのボランティア派遣

毎年200名以上の役職員が、青梅マラソン大会参加選手受付ボランティアを担当するなど、長年に亘り大会実行委員として運営協力しているほか、参加選手へのグッズ提供やロードレースへの支援など、地元協賛企業として様々な面から大会運営支援を行っている。



株式会社OSGコーポレーション



企業理念の実践!運動習慣定着を目指し
「サポート支援制度」「拠点単位イベント」。

OSGグループでは、「よりよい健康、快適なライフスタイルを追求し、暮らしや社会の喜びに貢献する」が企業理念である。過去より運動習慣の実践として「汗の水曜日」「毎年のホノルルマラソン」に取組み、更なる運動習慣の定着を目的にした取組が、競技参加費用を一部会社が支援を行う「運動習慣サポート支援制度」や、「拠点でのリレーマラソン参加」「ストレッチ実演講座」などである。

O-ENCE

株式会社オーエンス



社内ストレッチの取組

事故防止と長時間のデスクワークによる運動不足解消のため、リフレッシュして仕事に集中できるように、月に1回社内ストレッチを実施している。



大塚製薬株式会社



定期的なオフィス内体操や各種運動プログラムの実施、障害者スポーツへの支援

社員が健康に生き生きと働けることが大切と考え、週一回8分間のオフィス内体操「ポカリフレッシュ」や、社員・家族を対象に健康増進や疾病予防につながる運動プログラムの実施等スポーツを通じた健康づくりを実践している。

また、30年以上前より障害者スポーツの支援をスタートしており、「日本障がい者スポーツ協会」等を通じて全国で開催されている各種競技大会に、運動時や暑い時期の水分補給の重要性の啓発活動や製品支援を行っている。



株式会社オートバックスセブン



スポーツ活動に対し 全社をあげて支援

企業対抗運動会の「ザ・コーポレートゲームス」に毎年150名程度の従業員が参加。そのほかマラソン大会「ランナーズ24時間リレーマラソン」の協賛企業として大会の支援をする一方で、従業員もランナーとして参加し、健康増進の一助としている。

また、社内クラブ活動に対し年間最大10万円の活動資金を給付し支援を行い、同支援を通じて約10チームの運動系クラブが定期的に活動を実施。



一般社団法人鬼ごっこ協会



子供の頃から大人気の 「鬼ごっこ」で健康改善

子供たちには学校体育や放課後、休日のレクリエーションとして、大人には心のリフレッシュや健康増進のためのプログラムとして取り入れてもらえるように活動をしている。協会スタッフ自身も、心身の健康やメンタルヘルスケアのためにいろいろな種類の鬼ごっこで遊び、フットサルやジョギングなどの活動も継続的に実施している。



株式会社オフィス24



健全者もできる人気パラスポーツ シットイング・バレーボール教室を開催(自由参加)

パラリンピック競技でもあるシットイング・バレーボールの体験教室を月1度開催。

パラリンピック シットイングバレーボールの監督・選手等の協力のもと、本格的なプレーと練習方法を実施しつつ、初心者でも無理なく丁寧に指導している。開催時間は勤務後に社員が自由参加できるように19時~21時。社員以外も参加を受けている。

また、社員でオリジナルチームを作り、全国大会にも出場している。



オリンパステルモバイオマテリアル株式会社



社員のスポーツイベント参加推進と障害者アスリートの雇用

社員がスポーツイベントを通じて、コミュニケーションの活性化と健康増進に取り組む機会を提供している。駅伝大会への参加やボーリング大会の開催など、社員自らの提案によるスポーツイベントを奨励し、活動費の補助や運営面でサポートを行っている。

また、障害者アスリートを雇用し、社員が障害者との共生を学ぶとともに、障害者アスリートのセカンドキャリア支援についても力を入れている。

Ontoff

オントフ株式会社



階段利用の促進!この一段ごとに、パラリンピックが近づくね!

営業活動先(ビル)では、週一回以上階段を利用しており、高層階では5階分までとし、下り階段は際に配慮した利用等、階段利用を促進している。

また、朝のラジオ体操は、テレワーク時の自宅でも実施している。

さらに、社外の個人・団体と共同したスポーツ機会として、クルージングヨット航海を取り入れた。20日間の長期連続休暇を制定し、ロングクルージング(横浜⇄三重県神島)やヨットレースに参加している。

Curves

The power to amaze yourself.®

株式会社カーブスジャパン



全社員に対して「カーブスワークアウト」を月8回以上実施することをルール化

全社員が月8回以上のカーブスワークアウト実施をルール化し、(一般職、時短勤務のメンバーは、月に5回以上)勤怠シフトにて、実施回数を管理している。

実施できない場合は、筋トレと有酸素運動を含む30分以上の運動をワークアウト1回分とした運動プログラムの実施を推奨している。

KAO

自然と調和する ころ豊かな毎日をめざして

花王株式会社



ヘルスケアの知見を活かし「kao みんなの
GENKI プロジェクト」推進中

日常の「歩く」を推奨するために歩行速度も計れる歩数計「ホコタッチ」、日常の活動を記録するアプリ「GENKI-WEB」を活用し「歩く」を応援、ウォーキングチャレンジや歩行測定会を実施し楽しく「歩く」活動を推進。階段をジムに見立てた0円ジム、休憩時間などを活用した各種スポーツクラブ活動、企業内運動会、ソフトボール大会、ハイキング等を実施しスポーツを通じて社員と家族の健康増進、QOLの向上を目指し、良きモノづくりを推進する。

Calbee

カルビー株式会社



掘り出そう運動の力!
～グッドコンディションではたらこう～

本社では昇降デスク導入や月に1度の体組成測定会を実施している。全国の事業所では、各所のウェルネス推進委員会を中心に、工場での家族を巻き込んだ運動会の開催や、地域のマラソン大会への参加等、各事業所の特性を生かしたスポーツに取り組んでいる。

KANSAI PAINT

関西ペイント株式会社 東京事業所



社員の健康増進への取組
及びスポーツ活動への支援

社内にトレーニング室、卓球場、シャワー室などを整備するとともに、クラブ活動には補助金を拠出し、社員が運動に取組みやすい環境を作っている。

また、毎朝のラジオ体操やボウリング大会を開催し、体を動かしながら社員交流する場を提供している。

KANSEI

管清工業株式会社

管清工業株式会社



東日本大震災復興支援イベント「ツール・ド・三陸」自転車部の走行参加及び、協賛支援。

東日本大震災復興支援イベント「ツール・ド・三陸」にて自社自転車部が5年連続で参加している。

岩手県陸前高田市内及び、大船渡市内をサイクリングするコース。走行距離70kmのフルコースや、2時間のタイムトライアルレースではチーム優勝した。

被災地を巡りながらのコースであり、徐々に復興していく町の姿が見られる大会である。



株式会社キャプティ



軟式野球部の活躍で社員間 コミュニケーション活性化に貢献

軟式野球部は、1979年に「スポーツには選手のみならず、周りの人々にもいい影響を与える力がある」という考えのもと結成した。1981年には品川区一部で優勝し、その後、天皇杯・国体に出場するなど全国の強豪になり、2019年度の天皇杯も東京都代表として13回目の出場を果たした。全国56チームの代表が集う中、惜しくも1回戦で敗退したものの多くの社員や家族が詰めかけ熱心に応援した。こうした野球部の活躍が社員間のコミュニケーションに大いに貢献している。



キャリアコンサルティング

株式会社キャリアコンサルティング



“人づくりのキャリア”がチーム制歩数コンテストや 縄文ストレッチで基礎体力を向上

基礎体力向上のため、参加者を募り、ランダムに3人1組でチームを編成。チームの合計歩数を競う歩け歩けコンテストを開催。仲間意識をもって楽しく取組めるよう工夫し、73%の社員が参加。普段から歩くことを意識するようになっている。また、日本の伝統的な動きを取り入れた縄文ストレッチは、月に一度、全社員がワークショップに参加。毎日15分、縄文ストレッチを行う縄文タイムを設けており、免疫力や基礎体力の向上に繋がっている。



株式会社キューオーエル倶楽部



成長段階にある女子プロゴルファーの サポート及びスポーツイベントに協賛

グループ企業がスポンサーをしている女子プロゴルファー支援のため、プロアマ大会に協賛している。また、サプリメントの提供を通じて、アスリートの支援を行い、広くスポーツの振興に寄与している。



株式会社 協栄

株式会社協栄



アスリートの雇用、カヌー体験イベントの実施、 階段利用の促進

トップアスリートの雇用や、カヌー体験イベントを積極的に実施、階段利用の促進をするほか、スポーツゴミ拾いにも新たに挑戦。



株式会社ぎょうせい



障害者アスリート雇用やスポーツゴミ拾い大会実施、
階段利用促進を通じて社内スポーツを推進

社内交流や健康増進等を目的としたチーム対抗のスポーツ
ゴミ拾い大会を、毎年10月に実施し、社員とその家族100
名以上が参加している。また、階段利用した場合の消費カロ
リーを記載したポスターを掲示し、階段利用を促進している。

平成29年からは、障害者アスリートの活躍を見たり、応
援したりすることを通じて、社員自身の振り返りや社員の
一体感を促進し、組織力や社員の意欲を高めることを目的に、
障害者アスリートの採用活動を開始した。



共同カイツック株式会社



プロボクシングのスポンサーから、
障害者アスリートの雇用まで幅広く支援

プロボクサーWBS王者・井上尚弥、前WBC王者・
拓真兄弟のスポンサーをはじめ、障害者アスリート、
なでしこ2部リーグ選手を雇用しており、社員の試合
観戦の時には補助をしている。

また、近隣小学生のフットサル大会を開催し、地域
交流を図っている。



株式会社協和



スロトレ(スロートレーニング)の実施

美容と健康をお客様に提供する会社として、「まずは
自分達から実践する」との想いでスロトレをスタート。
これは、9年以上実施の長期的な取組。元五輪競歩選
手で社員の柳澤哲が監修したオリジナルプログラムで、
ウォーミングアップ2種+日替り2種を毎日15分間実
施。社長を含めた全従業員と居合わせたパートナー企
業様と一緒に参加することも。業務での一体感に繋がっ
ている。



協和キリン株式会社



スポーツを通じた社会貢献活動

社員に適度な身体活動を行うよう推奨しており、社員
向けにウォーキングキャンペーンを年に2回実施し、さら
に気軽に運動に取組めるコンテンツを盛り込んだ「健康
フェス」を実施した。

また、卓球部は特別支援学校や障害者支援施設を訪
問し、主に子供たちと卓球の楽しさを共有している。

さらに、事業場周辺の活動として、卓球教室、テニス
スクール、サッカー教室を開催し、地域と交流している。